

こんにちは。
町長です。



台風等の災害に備えて「備えあれば憂いなし」

8月も大変暑い日が続きましたが、町民の皆様にはご健勝のことと存じ上げます。

さて、7月、8月と台風の襲来が続きました。7月28日から29日にかけて接近した台風12号では、町は避難所の開設を行うとともに「避難準備・高齢者等避難開始」を発令させていただきました。この発令内容は、人的被害が発生する可能性があるため、避難に時間を要する方は避難を開始し、それ以外の方には避難の準備を呼びかけるものです。

町では、5カ所の避難所（小鹿野文化センター、般若いきいき館、武道場、藤倉集会所、両神庁舎）を開設し、避難をされる方を受け入れました。これらの避難所に避難された方は、一番多いときで59名にのぼりました。

避難所開設にあたっては全区長に電話で連絡するとともに、避難所の開設、避難準備・高齢者等避難開始の発令を防災無線、ちちぶ安心・安全メール、小鹿野町公式LINE、広報車での案内を行いました。さらに体の不自由な方など支援が必要な方には、直接電話で確認を行うなど色々な伝達手段を活用して町民の皆様に呼びかけをいたしました。

避難所開設にあたっては全区長に電話で連絡するとともに、避難所の開設、避難準備・高齢者等避難開始の発令を防災無線、ちちぶ安心・安全メール、小鹿野町公式LINE、広報車での案内を行いました。さらに体の不自由な方など支援が必要な方には、直接電話で確認を行うなど色々な伝達手段を活用して町民の皆様に呼びかけをいたしました。

この発令を町民の皆様がどれだけお聞きになったか、

また理解をされたのかについて町は把握出来ておりません。恐らく防災無線等が雨の音で聞こえなかった方もいらっしゃるでしょう。また、多くの方は自分の家は大丈夫であると判断し避難をされなかったと存じます。

避難準備をどれだけ町民の皆様がされたのかについても町は把握出来ておりません。町民の皆様へ避難等の情報が正しく伝達されたかの分析検証を町として行う必要があると思います。

7月の西日本豪雨の際には、逃げ遅れたとみられる犠牲者が多く出ました。その中でも自主防災組織の役員らが各戸を回って住民の全員避難に結びつけた事例があったとお聞きしております。

どうしても町役場の職員だけでは呼びかけや対応だけでは限界があり、やはり基本は「自分の命は自分で守る」という意識の徹底や、地区住民の協力連携による助け合いが大事であると思います。

昨年度、町内各世帯に「平成29年度小鹿野町土砂災害ハザードマップ」をお配りしております。是非、ご一読いただきたいと存じます。

これからは、今まで大丈夫だから安全だろうという意識は払拭していただき、想定外のことも起こる可能性があるという気持ちで台風などの自然災害に対応していただきたいと存じます。

小鹿野町長 森 真太郎